

中国からの ANOR ニュースレター（2004年3月29日）

1．有害産業廃棄物の処理問題

資源の循環利用率の低い中国は、急激な産業化の進行で固形廃棄物の発生量のレベルは増加傾向にあり、更に廃棄物の処理マナーと関連インフラの整備が、産業の発展に着いて行っていないのが、現状である。

それで、有害廃棄物の環境に与える悪影響が高まっており、如何に安全に正しく処理するかが、環境保護上重要な課題になっている。

有害廃棄物の処理方式を基準化する規制が、2004年の2月に行政院より公布された。中国政府は、有害産業廃棄物による汚染をコントロールする為に、3年以内に149億2千万人民元（18億US\$以上）の投資を計画している。環境汚染をミニマイズする為に、産業廃棄物の安全な保管と処理に注力しなければならない。

その規制に依れば、中国は年間処理合計能力282万トンの規模の31の有害廃棄物処理センターの建設を計画している。

中国の企業は、年間処理能力350万トンの有害廃棄物の副産物を再使用するか、処理するかの施設を、新たに建設するか立て直しかの選択を求められている。

更に政府は、有害廃棄物の管理監督、技術開発、集荷、輸送、処理を強化する方針である。緊急時の対応、特別要員の確保、標準化された廃棄物処理システムに対応するシステムの構築に注力しなければならない。

これらのシステムを効率化する為に、優先順位を付けた政策を推進し又罰則を明確化しなければならない。

この規制は、付随する必要な設備と技術と同様に輸送用の車両、燃焼炉、ガス処理、安全な埋め立てを個々に定めている。

これら政策の問題並びに施行、標準化は廃棄物処理施設の建設と運営の為に推進されねばならず、又将来の環境の安全性の保証並びにエコロジーを進める為の、信頼できる保証となるものでなければならない。

2．困難な事業、医薬廃棄物の処理

3003年6月に、医薬廃棄物の処分に関する規制が発効し医薬廃棄物の集荷、輸送、保管、処理、及びそれに対応する法律上の責任が明記された。

この規制に依れば全ての団体と個人は、医療廃棄物を公衆の管理と標準化された管理に携わるスタッフと同様に、廃棄物処理団体、医療機関、関連行政部門の違反との申し立てに対し、異議の申し立て若しくは告発する権利を有する事になった。

3．産業廃棄物のリサイクル法

2004年3月5日、北京で第10回人民会議の第2回部会が開催された。

人民会議の代理人に依って提案された産業廃棄物リサイクル法は、十分な時間をかけた討議の為に人民会議の常設会議にかけられた。

4．循環経済が中国に出現

循環経済は環境面での持続可能な発展に呼応した、新しい経済の型になってきた。

よりクリーンな生産及び環境に配慮した農業は、産業界、農業界双方において一般化した概念になってきている。

これらの方策は他に替え様の無い選択であり、廃棄物汚染のコントロールの最善の道である。

特に、よりクリーンな生産は、大きな活力と浮揚力を持って環境保護の歴史の中で、汚染防止の新時代をスタートさせるもので、新世紀における汚染コントロールの最善のアプローチになると思われる。

5．浙江省における、環境に配慮した住環境の最適技術の発展と応用に関する新プロジェクト

最近、このプロジェクトが浙江省でスタートし浙江大学が推進する事が認められた。

このプロジェクトの一部は、排水の処理と利用並びに最適な厨芥の処理方法に関するものである。

6．有機性廃棄物循環利用に関する国際会議

革新的な技術と最適な管理に関する会議が、2004年10月9 - 11日の間、中国杭州で浙江大学の主催で行われる。

この会議は、我々が直面している諸問題を取り上げ、問題解決の為に何が成されなければならないかに関する情報提供が、されると思われる。

更にこの会議は科学者、組織、政府間の提携を目指しており、有機性廃棄物循環利用に関する最新の情報交換並びに理論と応用技術に関する国際的な討議の場、並びに政府機関、民間会社、コンサルタント、調査、教育、訓練機関を含む廃棄物管理、行政に携わる代表者に交流の機会を提供するものである。